

報道関係各位



2025 年 11 月 17 日

認定 NPO 法人虹色ダイバーシティ

**【大阪初の常設 LGBTQ+センター「プライドセンター大阪」
開設 3 年半で来館 5,000 人超に】
パートナーシップ制度 10 年、企業・自治体との連携で
「誰もが自分らしく輝ける社会」へ
11 月 21 日（金）来館記念イベント開催**



認定 NPO 法人虹色ダイバーシティ（所在地：大阪市北区、理事長：村木真紀）が運営する常設 LGBTQ+センター「プライドセンター大阪」は、2022 年 4 月の開設から 3 年半を迎えた 2025 年 10 月、累計来館者数が 5,000 人を超えましたことをお知らせします。

同センターは、LGBTQ+当事者やその家族、友人に加えて、企業・教育・行政関係者、そして地域の住民など、多様な人々が訪れる「誰もが自分らしくいられる場所」として、相談対応や情報発信、イベント開催などの活動を行っています。全国から延べ 5,000 人以上の方々のご来館を記念して、11 月 21 日（金）に「来館記念イベント」を開催します。当日は、日頃の感謝をお伝えしながら、これまでの歩みを振り返るとともに、センターの未来について皆様と一緒に考えます。

今年の 11 月でパートナーシップ制度の導入から 10 年を迎え、来年 2026 年には、同性婚をめぐる初の最高裁判決が予定されています。また、企業においても DE&I が人的資本経営の

一部として位置づけられ、LGBTQ+に関する社会的な動き・関心は高まりを見せています。こうした中、虹色ダイバーシティは、個人のみならず企業・自治体との連携を一層強化し、「誰もが自分らしく輝ける社会」を創るべく活動を続けてまいります。

■ データで見る「安心できる居場所」の社会的価値

プライドセンター大阪は開設以来、LGBTQ+だけでなく、その周囲の人、LGBTQ+に関して学びたい人など、「誰もが安心して立ち寄れる場」として協賛企業・団体と協働する形でさまざまな活動を展開してきました。

【2025 年 10 月末時点のデータ】

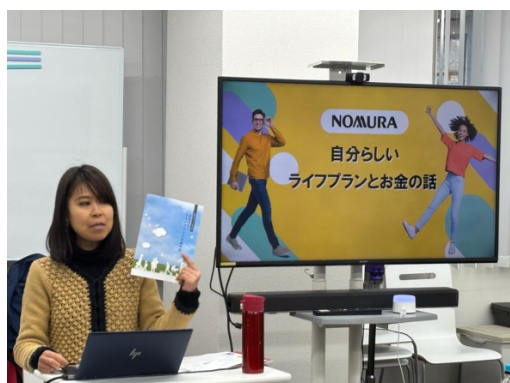
累計来館者数：5,047 人

対面・オンライン相談：329 人

LINE 相談：1,327 人

イベント実施：135 回（累計参加者数：約 17,081 人）※館外イベント含む

見学・視察対応：262 件（1,091 人）



センターご利用者からは、「安心して過ごすことができた」「本を通じて多様な視点に出会えた」「自分を受け入れられるようになった」などの声が寄せられ、子どもから 70 代の方まで幅広い層が訪れています。プライドセンター大阪は「居場所」を超えて、学び・支援・共感が循環するインクルーシブな社会教育の場として機能しています。

■ 企業との協働が生む「社会的インパクト」

本センターの運営は、9 社の協賛企業の継続的な支援に支えられています。

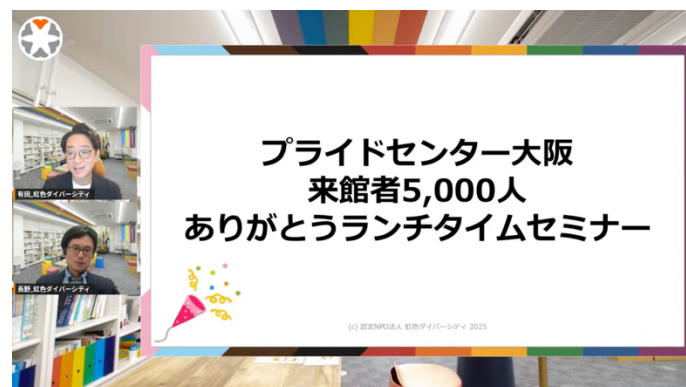
【協賛企業一覧（2025 年 10 月時点）】

ソニーグループ / TOPPAN ホールディングス株式会社 / 野村ホールディングス株式会社 / パナソニックグループ / キンドリルジャパン株式会社 / 積水ハウス株式会社 / 株式会社神戸製鋼所 / 西日本旅客鉄道株式会社 / 日本マクドナルドホールディングス株式会社

企業の支援は資金面にとどまらず、イベント共催や研修、地域連携など多様な形で展開されています。また、企業の担当者がセンターの活動に関わることで、DE&I（多様性・公平性・包摂性）を「制度」や「遠い誰かの話」としてではなく「自分たちの会社のこれから」として考えるきっかけにもなっています。

■ 「ありがとうランチタイムセミナー」で見えた“共創のかたち”

11 月 13 日（木）に配信しました「プライドセンター大阪 来館者 5,000 人ありがとうランチタイムセミナー」は、協賛企業の従業員や DE&I 担当者などに視聴いただき、センターの最新データや来館者の声をもとに、「企業の支援がどのように社会的成果を生み出しているのか」を共有しました。



【視聴者の声】

「センターが多くの人にとって“心の安全基地”になっていることを実感した」
「企業としての支援が、目に見える社会的成果につながっている」
「自社の DE&I 活動とセンター支援のつながりを改めて理解できた」

支援する側から共に創る側へと意識が変化し、企業と市民がともに価値を生み出す“共創のかたち”が見え始めています。

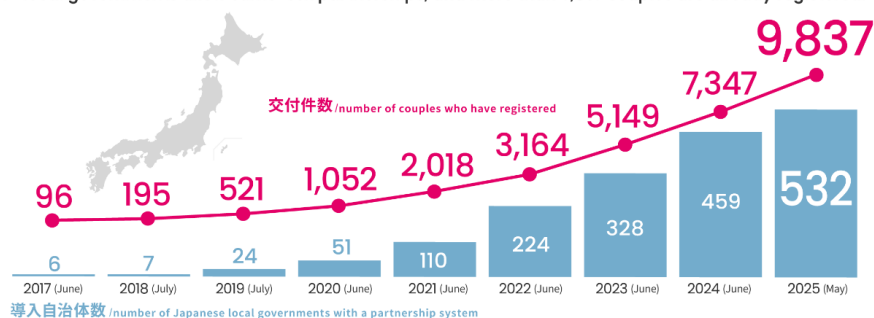
■ パートナーシップ制度 10 年、社会が企業・自治体に求める変化

パートナーシップ制度登録件数の経年変化

LGBTQ partnership systems cover more across Japan



パートナーシップ制度のある自治体は急速に増えており、2025年5月末時点で532自治体、9,837組が登録している。
532 local governments allow same-sex partnerships, and more than 9,837 couples are already registered.



2015 年に渋谷区と世田谷区で始まった「パートナーシップ制度」から今年の 11 月で 10 年。2025 年現在、全国では 530 を超える自治体が制度を導入し、同性カップルへの理解は着実に広がっています。

また、Z 世代を中心に、「多様性を尊重する企業かどうか」が就職や購買の判断軸となるなど、社会の意識変化も見られる一方、職場での孤立や差別、カミングアウトへの不安など、LGBTQ+ 当事者が感じる生きづらさはいまだ根強く残っています。

■ 今後の展望：社会の転換点を迎えて

来年 2026 年には、最高裁で同性婚をめぐる初の最高裁判決が予定されています。「社会と多様な人々との在り方」をめぐり、制度の転換点を迎える今こそ、企業・自治体・地域が連携し、「法律の枠を超えて、多様な人々が尊重される社会」をどう実現するかが問われています。

プライドセンター大阪は今後も、企業・自治体・地域の皆様とともに、「誰もが自分らしく生きられるインクルーシブな社会」を築いてまいります。

< 来館記念イベント概要 >

「プライドセンター大阪 まいどおおきに！5,000 人来館記念イベント」

日時：11 月 21 日（金）17:00～18:30

会場：プライドセンター大阪（大阪市北区天満 2 丁目 1 - 6 天満橋 MS ビル 2F）

参加費無料／予約不要／どなたでも参加いただけます

内容：

日頃の感謝をお伝えしながら、これまでの歩みを振り返るとともに、センターの未来について皆様と一緒に考えます。

※取材をご希望のメディア様は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

<本件に関する問い合わせ先>

認定 NPO 法人虹色ダイバーシティ 広報担当：井上

E-mail：staff@nijiroidiversity.jp

TEL：[06-7507-2778](tel:06-7507-2778)

ウェブサイト：<https://nijiroidiversity.jp/>

プライドセンター大阪：<https://pridecenter.jp/>

◎プライドセンター大阪について

プライドセンター大阪は、2022 年 4 月に大阪市北区に開設された大阪で初めての常設の LGBTQ+センターです。LGBTQ+センターとは、性的マイノリティやその周囲の人の居場所や相談先、性的マイノリティに関する情報発信などを行う拠点を指します。

◎虹色ダイバーシティについて

虹色ダイバーシティは、性のあり方による格差のない社会づくりをめざして、調査研究・社会教育・LGBTQ+センター運営を行っている認定 NPO 法人です。調査研究・社会教育・LGBTQ+センター運営を通じて、職場・学校・地域など、日常生活における LGBTQ+当事者や周囲の人々の生きづらさを解消し、SOGI による格差のない社会の実現をめざして活動しています。

◎LGBTQ+とは

レズビアン (Lesbian)、ゲイ (Gay)、バイセクシュアル (Bisexual)、トランスジェンダー (Transgender)、クィア (Queer、非典型的な性のあり方すべてを指す) あるいはクエスチョニング (Questioning、特定のあり方に決めない、というあり方) の頭文字で、性的マイノリティの総称として使われている言葉です。

◎SOGI (ソジ) とは

Sexual Orientation (好きになる相手の性別、性的指向)、Gender Identity (性別に関するア

イデンティティ、性自認)の頭文字で、マイノリティ(少数者)かマジョリティ(多数者)を問わず、すべての人に関わりがあります。

◎パートナーシップ制度とは

同性カップル等が自治体にパートナー関係を宣誓し、公的な証明書を受け取る制度です。ただし法的な効力はないため相続などの権利は保障されず、制度内容は自治体によって異なります。

※このリリースは虹色PRパートナーが配信しています。

■虹色PRパートナーについて

虹色 PR パートナーは、認定 NPO 法人虹色ダイバーシティと株式会社プラップジャパンによる共同プロジェクトです。LGBTQ+等の性的マイノリティとその家族、アライの尊厳と権利を守り、誰ひとり取り残さない社会の実現のために、調査研究・講演・研修・コンサルティング・LGBTQ+センター運営などを行う虹色ダイバーシティと、広報・PRの支援・コンサルティング事業を通して社会・文化の発展に寄与するプラップジャパンの強みを生かし、様々な企業や団体の、LGBTQ+等の性的マイノリティに関する活動を支援しています。